

## 令和 6 年 2 月期 (第 92 回) 番組審議会 議事録 (抄)

- 1 開催日時 令和 6 年 2 月 1 日 (木) 午後 7 時 ~ 7 時 49 分まで
- 2 開催場所 京都府京丹後市峰山町丹波 825 番地の 1  
NPO 法人京丹後コミュニティ放送 1 階事務所内
- 3 委員の出席 委員総数 7 名  
出席委員数 5 名  
放送事業側 2 名  
出席者

### 4 開会

事務局から令和 5 年度第 5 回目の番組審議会の開催宣言の後、出欠確認と報告事項の説明がなされた

次に、議長から議事録署名人に、安田氏と今田氏に依頼し了承が得られた  
続いて、番組審議に入る

### 5 番組審議

「たんご・モーニング・サンド! (水)」出演: 引野明子 (あっこ)  
1 月 31 日 (水) 7 時 30 分~8 時 30 分 放送分

番組視聴、その後番組説明、審議に入る

意見として、

- (委員) 今回の放送分を聴いてになりますが、ニュースの内容について、地元のニュースも言わないで、全国扱いのスポーツ関係者の義援金のニュース内容に違和感を持ちました
- (委員) ニュースの内容で、今回のように、ディズニー、スポーツ等色々なニュースがあってもよいのですが、京丹後の地元のニュースがあってもよいのでは
- (委員) 義援金については何かすすめておられますか
- (局側) 京丹後市が行っている義援金募集の広報は、番組内で放送していますが、FMたんごとして義援金を募っていることはありません
- (委員) パーソナリティの引野さんはFMまいづるでも番組をもっておられますね
- (局側) はい、FMまいづるでもされているようです
- (委員) 話し方は慣れておられる感じがしますし、緊張もされておられるようですが、わりとたんたんとお話されておられて、逆に強調される部分とかが、入ってこない感じがします  
しゃべるトーンが一緒に、ニュースの際は変わりましたが、悪く言えば一本調子なので、もう少し強調したいところ、最後の「ではさようなら」は、明るかったと思うので、その感じで朝の番組ですし、メリハリをつけてはどうでしょうか
- (委員) 学校行事があって、京都府からのお知らせがあり、それはそういうものかなと思いますが、ニュースを聴いて、もう少し地元のニュースをとほ思いました  
能登半島の地震は、まだ近いところであった出来事なので遠くの話より近くの出来事をニュースにしてはどうか
- (委員) パーソナリティが局へ来てからか、事前に準備して原稿を持ってこられるのか
- (局側) ニュースについての説明をさせていただきます  
現在、朝、昼、夕と生でニュースを伝えています、原稿元は読売新聞社が提供しているサービスを利用していることから、全国ニュースになっています  
その中から放送前に担当者が選びニュースを伝えています  
日によっては元々のニュース原稿が少なかったり、選ぶのが難しい場合もあります
- (委員) パーソナリティの人が選ぶわけですね
- (局側) そうです  
局として、大きなニュースがあった場合は優先的に、また、政治、経済、スポーツなど、重ならないようにしています

- (委員) 地元のニュースを言われたらそうだなあと思わなくもない
- (局側) その選択肢の中に地元に関連するものがあつたら最優先ですが現状はありませんので
- (局側) 地元のニュースもですが、正確な一番近い時事のニュースがほしいんですが、難しいです
- (委員) スマートニュースで、京都府版のところ京都丹後のものも結構入っています
- (局側) 地元の新聞を交えたニュースというのもしっかりおっしゃる通りです
- (委員) 読売新聞のニュースは全国版のみですか
- (局側) はいそうです  
ニュースの正確性、ニュースの時間と決めているところは、読売ニュースから選ぶことをルールとしています  
それ以外、地元等の情報に関しては、それ以外、番組内でお知らせしています
- (局側) 契約上、データでいただいた原稿を読ませていただいています
- (委員) 必ず読まないといけないのか
- (局側) それは、各担当が、原稿の取捨選択をしています  
地元のニュースが少ないのは確かにしっかりおっしゃる通りです
- (委員) テレビでも担当が何時間も前から各社の新聞をチェックして、話題にしているというのが、普通のやり方だと思っていました  
あまりにも安易すぎるというか
- (委員) 安全パイすぎるというか
- (委員) 聴いている方がローカルな放送局で、なぜ全国ニュースを放送しているのかという感じがしていました
- (委員) 記事がないときは、ニュースをなくすということは
- (局側) 構わないとは思いますが、ただ、過去やってきた中でこのルールでやってきています
- (委員) それはそれでいいですが
- (局側) 出処が確かなものでないといけない
- (委員) そうですね
- (委員) 京都新聞の記事では
- (局側) そうですね、再度内部で協議したいと思います
- (局側) 朝の時点で京都新聞の朝刊が投函されていますので、京都新聞の地方欄の情報は番組内のニュース以外のところで伝えていますが、パーソナリティのスキルのなところも、新聞を見て、そこから原稿を作成するという時間がとれない
- (局側) 生放送の前に来て、放送内容を整理して準備しています
- (委員) もう少し特徴があってもよいのでは 素人感も特徴になるのでは
- (委員) やはり地域のローカルな放送局なので、ローカルなことを大事にして、余裕があれば逆に全国ニュースを取り上げるのがベストではないか  
難しいということもわからないではないが
- (委員) 朝の生番組だから難しいのか、昼間なら時間があるのか
- (局側) そうですね、現時点で社員だけでやっている番組ではないので、ボランティアさんにも協力してもらっていますので、教えるときにルールとして決めてしまった方が安全になってしまっています
- (局側) 改善すべく局内で協議します

以上、閉会となる

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

番組担当からパーソナリティに対し意見の内容を伝えた

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

① 当局事務所内に掲示

② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項

特になし